

研究情報公開

受付番号	
研究課題名	大腿骨近位部骨折患者における低栄養が在院日数に与える影響 -栄養指標として COUNT スコアを用いた検討-
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院 リハビリテーション部
研究実施者	白石 涼
研究の背景・目的・方法等	<p>【目的】 近年、栄養状態が在院日数に関わることが報告されています。そこで本研究の目的は、当院へ入院した大腿骨近位部骨折患者で、栄養状態の指標に CONUT スコアを用いた際、低栄養が在院日数に及ぼす影響を明らかにすることを目的としました。</p> <p>【方法】 当院に 2019 年 4 月 1 日から 2020 年 1 月 31 日までに入院した大腿骨近位部骨折患者を対象とした後ろ向き観察研究です。COUNT スコア (0~1 点以上) を栄養レベル正常群、COUNT スコア (2-12 点) を栄養レベル不良群に分け、2 群間における基本属性、医学的所見、FIM 移動項目の値をデータ収集し比較しました。主要評価項目に在院日数、退院時 FIM を、副次項目に FIM 利得、FIM 効率、面談調整期間 (入院から面談までの期間) を設定しました。統計解析は、EZR を使用し有意水準は 5% としました。</p> <p>【カルテ情報の利用方法】 上記のカルテ情報は、患者さんの治療の有効性を分析する材料とします。</p> <p>【個人情報の取り扱い】 利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、課題研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は 利用しません。</p>
研究期間	承認日～2025 年 5 月